

令和5年度 東毛地区社会教育関係職員等研修講座

〈期日〉 令和5年11月15日（水） 〈会場〉 コスメ・ニスト千代田町プラザ

東毛地区の生涯学習・社会教育の推進を図るため、社会教育行政に携わる職員及び学校関係者を対象に、社会教育行政職員等に求められる基本的・実践的な知識及び技術の習得を目指し、資質の向上を図ることをねらいとした「東毛地区社会教育関係職員等研修講座」を開催しました。今回の内容は、地域防災にかかわる講演会とワークショップで、当日は36名の方々に参加していただき有意義な研修講座となりました。

講演 これからの防災とは ～地域と学校でつくる地域防災～

講師 群馬大学大学院 理工学府 環境創生部門
教授 金井 昌信 氏

講師の金井先生からは、「Unlearn（アンラーン）」（これまでに身につけた思考のクセを取り除く）というキーワードのもと「防災についてこれまで“当たり前”と思っていたことを“再考”してみませんか！」「防災に『唯一絶対の正解』はない！」と、これからの防災はどうあるべきかを、いくつかの課題と具体的な事例等を交えながらお話いただきました。

ワークショップ「災害対応図上訓練」

後半のワークショップでは、引き続き金井先生にご指導いただきました。大きな地震が発生し学校が避難所となり、災害対応の手伝いをするようになった場面を想定し、初動対応について考えました。一人一人が付箋紙に意見を書き出し、4～5名のグループで意見を共有しました。金井先生からは、それぞれの場面での注意点等の解説があり、臨場感をもって取り組むことができました。

参加者の声 ～アンケートより～

- ・たいへん勉強になり、有意義な研修であった。
- ・防災の考え方、捉え方について見直す必要性を感じた。
- ・「当たり前」と思っていたことの違った視点や切り口を知ることができた。
- ・ワークショップの内容は、公民館講座等でも活用できそうでとても参考になった。
- ・ワークショップで、様々な立場の方々と意見交換ができ大変よかった。
- ・避難者自身による避難所運営を実現させるための研修や訓練を実施していく必要性を感じた。
- ・今回の研修内容は、機会を見つけ所属や関係者へ周知していきたい。

